

1. 彩色のトーンを変えてイメージを変える

- ・自分が表現したいイメージを固める。自覚する。
- ・予め、彩色する色相とトーン（明度、彩度）を決める。
- ・最初は濁らない薄い色を薄く。陰色でイメージを作る。

配色の要素

- 色相
- トーン
 - 明度
 - 彩度
- 隣接色
 - コントラスト
 - グラデーション
- 散りばめ
 - 配置
 - 面積比
 - コントラスト

① 三角形配色 ② 三角形+1 ③ 類似色 ④ 類似色+反対色 ⑤ 十字平

©2007 日本色研事業株式会社

PCCS (日本色研配色体系: Practical Color Co-ordinate System)
 一般財団法人日本色彩研究所が1964年に発表したカラーシステム。
 PCCSは日本色研が著作権を有するカラーシステム。

彩色のトーンを変えてイメージを変える

基本: 同じ彩度の色を使う

フリー画像 <https://imecon-sozai.com/2022/04/03/color-wheel/>

ビンカ スターカイト: トーンを変えるとイメージが変わる

Pale-Lite: 薄い、軽い、弱い、優しい、淡い
 Bright: 明るい、健康的な、陽気な、華やかな
 Strong: 強い、動的な、情熱的な
 Deep: 深い、濃い、充実した

©2007 日本色研事業株式会社

Pale ⇒ Bright

陰(Deep, Dark)

©2007 日本色研事業株式会社

Light ⇒ Bright ⇒ Strong

陰(Deep, Dark)

©2007 日本色研事業株式会社

鉛筆線際にくっきりと濡らす

混色しない
薄い色水を作り溜める。
ハイライトを残し彩色

ビンカ スターカイトの「塗り絵」に挑戦します？

2. 配色による心理状態の演出

小説の挿絵に学ぶ (別途): 「ふりさけ見れば」「諸葛亮」「人よ花よ」など